

牛床マットあれこれ

鶴居村ではここ数年の間に、牛床マットを新しく整備した農場が増えてきました。牛床マットの設置は、牛の足のコンディションを良くしてやり、ストレスを軽減する効果があり、とても大事な資材です。鶴居村の傾向としてはウレタンマットを設置する農場が多いようです。今後、牛床マットの取り付けを考えている方もいると思います。最近の牛床

た生ゴムを使うなど、改良を加えた複合マットが市販されています。複合マットは、価格は上がりますが、滑りにくくクッション性も良好です。

マットの特徴と傾向を解説していきます。各農場の飼養形態にあったものが最良と考えられます。参考にしてください。

（ウレタンマット）（ゼノアックのボビレックス、谷口産業のタニサンマットなど）

クッション性 ○

耐久性 ○

価格 高い

特徴 家の断熱材などにも使用されている発泡性のウレタンを使用した

（生ゴムマット）（取り扱い…ヤンマー、ツチャヤ、エコアグリなど）クッション性 △

マットです。生ゴムのマットに比べ、滑りにくく、適度のクッション性もあります。一つの牛床ごとに設置できる利便性からも設置する農場が増えていきます。欠点もあります。一つに、マットが牛の体重で伸びてくるため、伸びた部分を数年に一度、切除する手間がかかります。もう一つ、夏場に敷料なしで使用すると蒸れて、足のコンディションが悪くな

ります（写真1）。元々北欧で開発された商品で、高湿度の日本の夏で利用するには、蒸れ防止の工夫が必要となります。

「発泡処理」を施し、クッション性を高めたものが主流となっているようです。ただし注意が必要なのは、どのような高性能のマットを使用しても、必ず敷料を沢山使用することです（写真2）。敷料なしで使用すると足のコンディションが悪くなります。また、価格の面で、牛床マットの購入を控えている農場でも、敷料を沢山使ってやれば、足のコンディションは悪くなりません。例えば、コンクリートの牛床でも常時2cmの厚さの敷料を維持できれば、生ゴムマットを敷いたのと同じ効果があります（掘れるのでかなり厚く敷く必要があります）。

足腰の強い健康な牛を作っていきます。

【鶴居家畜診療所だより】より抜粋

（鶴居家畜診療所診療課）

（現弟子屈家畜診療所） 茅先 秀司



（写真1）どんな高性能な牛床マットでも、敷料を使用しなければ、後ろ足の関節が擦れて腫れてきます。これはかなりのストレスです。（ウレタンマット使用）



（写真2）鶴居村T農場では、新築時に発泡性の生ゴムマットを導入しました。高性能なマットですが、沢山の敷料がマットの上に置かれ、牛の足のコンディションも良好です。